

《専門教育科目》

科目名	教育実習	科目ナンバリング	5032100100
担当者氏名	磯野 久美子	担当形態	単独
授業方法	実習	単位・必選	4 ・ 選択
		開講年次・開講期	4 年 ・ II 期

《授業の概要》

教育実習指導での学びや他の関連科目の内容を総合的にまとめて理解し、教育実習生として必要な意識や態度、保育実践に携わる素地を身に付けて実習に臨み、実習経験を通して保育者として有効に活かせるよう課題を見出す。

《授業外学習》

- ・実習に必要な手遊び、歌、絵本等の準備をしておく。
- ・部分実習等に必要な教材研究を含めた準備をしておく。

《テキスト》

『幼稚園教育実習の手引き』

《学習状況・理解度の確認》

実習日誌等をもとに、事後指導を行い、実習での学びと課題が明確になるようにする。

《参考図書》

『幼稚園教育要領』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』及び各解説書

《備考》

- ・実習中の体調管理に留意し、実習園の保育方針や保育内容等を十分理解して実習に望むこと。
- ・科目担当者は、実務経験者（幼稚園勤務歴あり）であり、実習先では、実務経験者による指導を受ける。

《授業の到達目標》

ディプロマポリシーの能力		授業の到達目標
◎	2-1幼児教育の方法を身につける	教育実習に必要な知識と心構えを学び、教育実習を通して、自己の子ども観、保育観を構築しながら、保育者としての課題を見出す。
○	2-2保育技術を身につける	教育実習に必要な保育技術を身に付け、子どもとの関わりや保育展開の中での的確に使えるようになる。

《成績評価の方法と評価の割合》

評価方法(%)	
試験	
小テスト	
レポート	
発表・実技	
授業内課題	
その他()	100%
合計	100%

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など	予習・復習等の内容	予習・復習等の時間
1	幼稚園実習（4週間）	教育実習指導及び関連科目での学びを踏まえ、自己課題を明確にして実習に臨む。	実習日誌、指導案	90分
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

《専門教育科目》

科目名	教育実習	科目ナンバリング	5032100101
担当者氏名	磯野 久美子	担当形態	単独
授業方法	実習	単位・必選	4 ・ 選択
		開講年次・開講期	4 年 ・ I 期

《授業の概要》

教育実習指導での学びや他の関連科目の内容を総合的にまとめて理解し、教育実習生として必要な意識や態度、保育実践に携わる素地を身に付けて実習に臨み、実習経験を通して保育者として有効に活かせるよう課題を見出す。

《授業外学習》

- ・実習に必要な手遊び、歌、絵本等の準備をしておく。
- ・部分実習等に必要な教材研究を含めた準備をしておく。

《テキスト》

『幼稚園教育実習の手引き』

《学習状況・理解度の確認》

実習日誌等をもとに、事後指導を行い、実習での学びと課題が明確になるようにする。

《参考図書》

『幼稚園教育要領』『幼稚園教育要領解説』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』

《備考》

・実習中の体調管理に留意し、実習園の保育方針や保育内容等を十分理解して実習に望むこと。・科目担当者は、実務経験者（幼稚園勤務歴あり）であり、実習先では実務経験者による指導を受ける。

《授業の到達目標》

ディプロマポリシーの能力		授業の到達目標
◎	2-1幼児教育の方法を身につける	教育実習に必要な知識と心構えを学び、実習を通し自己の保育観を構築し保育者としての課題を見出すこと。
○	2-2保育技術を身につける	教育実習に必要な保育技術を身に付け、子どもとの関わりや保育展開の中での的確に使えるようになること。

《成績評価の方法と評価の割合》

評価方法(%)	
試験	
小テスト	
レポート	
発表・実技	
授業内課題	
その他()	100%
合計	100%

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など	予習・復習等の内容	予習・復習等の時間
1	幼稚園実習（4週間）	教育実習指導及び関連科目での学びを踏まえ、自己課題を明確にして実習に臨む。	実習日誌、指導案	90分
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

《専門教育科目》

科目名	保育・教職実践演習（幼稚園）		科目ナンバリング	5033101200
担当者氏名	磯野 久美子		担当形態	単独
授業方法	演習	単位・必選	2	・ 選択
			開講年次・開講期	4 年 ・ II 期

《授業の概要》

履修カルテや実習ノート等を通して保育所実習、幼稚園実習を振り返り、総括するとともに、保育者として必要な知識、技能等の習得について確認し、自らの課題を自覚することを目的とします。具体的には、現場実践者の講話やフィールドワーク、グループ討議、事例研究等を取り入れ、授業を展開します。

《授業外学習》

保育・教職に向けての仕上げであることを意識し、これまでの学習内容を復習しておき、各授業に課題をもって臨むようにすること。

《テキスト》

『幼稚園教育要領』『保育所保育指針』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』及び各指導書

《学習状況・理解度の確認》

授業での学びは出来る限り文字化し、履修カルテとして整理していくことで自らの学びが確認できるようにする。

《参考図書》

《備考》

・本科履修までに、保育実習または教育実習のいずれかの単位を修得済みであること。・原則として、欠席は認められない。・担当者は、幼稚園教諭として幼稚園勤務歴のある実務経験者である。・ディ

《授業の到達目標》

ディプロマポリシーの能力		授業の到達目標
◎	2-1幼児教育の方法を身につける	4年間の学修や実習を通して身に付けた資質・能力が保育・教職での実践的指導力に繋がることの最終確認する。
○	2-2保育技術を身につける	保育実践に必要な技術の到達度を確認し、保育技術の向上を目指して努力する。
○	2-3多様な子どもの発達を支援できる	多様な子どもの育ちを支えることの意義や理念を再確認し、保育者としての使命感を養う。

《成績評価の方法と評価の割合》

評価方法(%)	
試験	0%
小テスト	20%
レポート	0%
発表・実技	30%
授業内課題	50%
その他()	0%
合計	100%

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など	予習・復習等の内容	予習・復習等の時間
1	学修の振り返り、自己の課題の明確化①	授業の目的・計画を理解し、これまでの学びの振り返りから自己の課題を整理する。	4年間の履修カルテをまとめてお	60分
2	学修の振り返り、自己の課題の明確化②	履修カルテをもとに、自己の課題を整理し、求められる保育者像について検討する。	4年間の履修カルテをまとめてお	60分
3	講話①「教育委員会」	教職の意義や保育者の役割、職務内容について学ぶ。	講話内容のまとめ	60分
4	グループワークと発表①	講話①をもとに、グループ討議を行い、自己の課題を明確にする。	自己課題整理	60分
5	講話②「幼児理解と保護者対応」	附属幼稚園での取り組みや子どもの現状、保護者対応について学ぶ。	講話内容のまとめ	60分
6	グループワークと発表②	講話②をもとに、グループ討議を行い、自己の課題を明確にする。	自己課題整理	60分
7	講話③「児童養護施設での取り組み」	児童養護施設の役割や課題について学ぶ。	講話内容のまとめ	60分
8	グループワークと発表③	講話③をもとに、グループ討議を行い、自己の課題を明確にする。	自己課題整理	60分
9	講話④「幼児教育におけるICTの活用」	保育所や幼稚園等での取り組みや子どもの現状について学ぶ。	講義内容のまとめ	60分
10	グループワークと発表④	講話④をもとに、グループ討議を行い、自己の課題を明確にする。	自己課題整理	60分
11	保育実践の事例研究①	グループワークを行う。	研究内容のまとめ	60分
12	保育実践の事例研究②	グループワークを行う。	研究内容のまとめ	60分
13	保育実践の事例研究③	グループワークを行う。	研究内容のまとめ	60分
14	学びの振り返り（小テスト）	学習内容の理解について小テストを通じて確認する。	講義内容のまとめ	60分
15	まとめ	自己課題をもとに、これまでの学びを振り返る。	学びの振り返りとファイリング	60分

《専門教育科目》

科目名	こどもと音楽Ⅳ		科目ナンバリング	5033103300
担当者氏名	立本 千寿子		担当形態	複担
授業方法	演習	単位・必選	2	・ 選択
			開講年次・開講期	4 年 ・ I 期

《授業の概要》

本科目では、これまで学んだピアノ演奏技能の基礎を更に高め、教育現場におけるあらゆる場面で使えるように、個々の進捗状況に合わせて、レパートリーの幅を広げていく。

《授業外学習》

ピアノ学習で一番大切なことは、日々の練習の積み重ねである。反復練習を十分に行い、レパートリーを広げていく。

《テキスト》

個々人のピアノ技能に応じた課題を与える。

《学習状況・理解度の確認》

質問や補講レッスン等は、オフィスアワーで受け付ける。

《参考図書》

必要に応じて指示・配布する。

《備考》

ML教室及びレッスン室使用上の注意事項を厳守すること。

《授業の到達目標》

ディプロマポリシーの能力		授業の到達目標
○	1-1子どもの発達を理解する力	保育者を目指す者としての必要なピアノ演奏能力を身につけることができる。
	2-1幼児教育の方法を身につける	楽譜から音楽的な様々な事柄を読み取ることができる。
◎	2-2保育技術を身につける	現場での行事等に使用できる楽曲を弾くことができる。
	2-2保育技術を身につける	様々なリズムの知識と、それを表現する曲を演奏できる。

《成績評価の方法と評価の割合》

評価方法(%)	
試験	0%
小テスト	0%
レポート	0%
発表・実技	80%
授業内課題	20%
その他()	0%
合計	100%

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など	予習・復習等の内容	予習・復習等の時間
1	オリエンテーション ピアノ個人レッスン (1)	授業内容の説明及びピアノ個人レッスン担当教員の紹介 学生の個人のピアノ演奏能力を考慮したレッスン (1)	技能の練習	120分
2	ピアノ個人レッスン (2)	学生の個人のピアノ演奏能力を考慮したレッスン (2)	技能の練習	120分
3	ピアノ個人レッスン (3)	学生の個人のピアノ演奏能力を考慮したレッスン (3)	技能の練習	120分
4	ピアノ個人レッスン (4)	学生の個人のピアノ演奏能力を考慮したレッスン (4)	技能の練習	120分
5	ピアノ個人レッスン (5)	学生の個人のピアノ演奏能力を考慮したレッスン (5)	技能の練習	120分
6	ピアノ個人レッスン (6)	学生の個人のピアノ演奏能力を考慮したレッスン (6)	技能の練習	120分
7	中間発表	中間発表	技能の練習	120分
8	ピアノ個人レッスン (7)	学生の個人のピアノ演奏能力を考慮したレッスン (7)	技能の練習	120分
9	ピアノ個人レッスン (8)	学生の個人のピアノ演奏能力を考慮したレッスン (8)	技能の練習	120分
10	ピアノ個人レッスン (9)	学生の個人のピアノ演奏能力を考慮したレッスン (9)	技能の練習	120分
11	ピアノ個人レッスン (10)	学生の個人のピアノ演奏能力を考慮したレッスン (10)	技能の練習	120分
12	ピアノ個人レッスン (11)	学生の個人のピアノ演奏能力を考慮したレッスン (11)	技能の練習	120分
13	ピアノ個人レッスン (12)	学生の個人のピアノ演奏能力を考慮したレッスン (12)	技能の練習	120分
14	研究発表	個人演奏発表	技能の練習	120分
15	総まとめ	総まとめ	技能の練習	120分

《専門教育科目》

科目名	こどもと造形Ⅳ	科目ナンバリング	5033103700
担当者氏名	満田 知美	担当形態	単独
授業方法	演習	単位・必選	2 ・ 選択
		開講年次・開講期	4 年 ・ I 期

《授業の概要》

造形Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの内容を踏まえワークショップの実践を行う。造形遊びが子どもたちとのコミュニケーションを前提とした先生からのメッセージが込められているが重要である。はじめにこどもを観察し問うべき題材テーマ設定をしなければならない。視点をかえ、変化を楽しみ、見えないものを表現することにより新しい世界を生み出すきっかけを作り出す方法について学びます。

《授業外学習》

予習方法。毎回使用する素材や材料について研究、収集をする。復習の方法。授業内容を再確認し、疑問点がある場合は随時答える。

《テキスト》

時間毎に計画書と参考資料を配付する。

《学習状況・理解度の確認》

分からないことはオフィスアワー等で質問を受け付ける。

《参考図書》

造形表現・図画工作 (KENPAKUSHA)

《備考》

授業のはじめに出席をとります。その後時間毎の資料に基づき説明に入ります。こどもと造形Ⅳ Children and modeling Ⅳ

《授業の到達目標》

ディプロマポリシーの能力		授業の到達目標
○	1-1子どもの発達を理解する力	造形遊びを学ぶ園児と現場の先生のための実用的な事例について視野を広げる。
○	2-1幼児教育の方法を身につける	時代や地域に対応した教材事例を体得し応用する力を身につける。
◎	2-2保育技術を身につける	

《成績評価の方法と評価の割合》

評価方法(%)	
試験	
小テスト	
レポート	
発表・実技	10%
授業内課題	90%
その他()	
合計	100%

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など	予習・復習等の内容	予習・復習等の時間
1	オリエンテーション	シラバス、課題、材料、道具の説明。	授業の内容の整理	45分
2	ワークショップ1	空き箱で作る！はこはこトートムボール/ユニークな顔の箱がいっぱい。グラグラ、ゆらゆら積み上げてにぎやかなトートムボールを作る。	使用材料、道具の収集	45分
3	ワークショップ1	空き箱で作る！2回目の作品を使い造形遊びにつながるワークショップを行う。	使用材料、道具の収集	45分
4	ワークショップ2	やさいばたけを作ろう/ずらりと並んだいろんな野菜の畑。葉と根をカードに描き土の部分を箱に埋め込む企画と制作を行う。	使用材料、道具の収集	45分
5	ワークショップ2	やさいばたけを作ろう/ずらりと並んだいろんな野菜の畑。葉と根をカードに描き土の部分を箱に埋め込む制作より造形遊びに展開する。	使用材料、道具の収集	45分
6	ワークショップ3	クレヨン画の基礎と応用。自由自在にモチーフを描くテクニックについて学ぶ。	使用材料、道具の収集	45分
7	ワークショップ3	クレヨン画の基礎と応用。自由自在にモチーフを描くテクニックについて学ぶ。自由画制作。	使用材料、道具の収集	45分
8	ワークショップ4	なりきりお面を作ろう/名前、性格、特徴にこだわり連想する人物のお面を作る。偶然が生み出す組み合わせを楽しむ企画、制作と造形遊びを行う。	使用材料、道具の収集	45分
9	ワークショップ4	なりきりお面を作ろう/名前、性格、特徴にこだわり連想する人物のお面を作る。偶然が生み出す組み合わせを楽しむ企画、制作と造形遊びを行う。	使用材料、道具の収集	45分
10	ワークショップ5	幼児画展の鑑賞と絵の見方。ギャラリートークより質疑応答を行う。	使用材料、道具の収集	45分
11	ワークショップ6	レンジャーキット/ヒーローに変身する企画、制作と造形遊びを行う。	使用材料、道具の収集	45分
12	ワークショップ6	レンジャーキット/ヒーローに変身する企画、制作と造形遊びを行う。	使用材料、道具の収集	45分
13	ワークショップ7	全作品を使った動画撮影の準備、配役決め、シナリオ制作を行い集大成として記録に残す。	使用材料、道具の収集	45分
14	ワークショップ7	全作品を使った動画撮影の準備、配役決め、シナリオ制作を行い集大成として記録に残す。	使用材料、道具の収集	45分
15	Ⅱ期の学びのふりかえり	Ⅱ期に学んだところをもと生活発表会を想定した指導案を作る。	授業の内容の整理	45分

《専門教育科目》

科目名	教育実習指導		科目ナンバリング	503310531A
担当者氏名	磯野 久美子		担当形態	単独
授業方法	演習	単位・必選	1	・ 選択
			開講年次・開講期	4 年 ・ I 期

《授業の概要》

自己の実習課題を整理して実習に取り組み、実習経験を通して保育者として有効に活かせるよう自己課題を見出すことを目的とします。これまで学習した関係科目の内容を総合的にまとめて理解するとともに、講義や実践を通して、子どもとかかわる仕事としての保育者の役割について理解し、教育実習生として必要な意識や態度、保育実践に携わる素地を培います。

《授業外学習》

- ・部分実習指導案、一日実習指導案の作成を行うこと。
- ・部分実習等に必要な準備をしておくこと。
- ・実習園の保育方針や保育内容を知っておくこと。

《テキスト》

『幼稚園教育実習の手引き』、『幼稚園・保育所実習 実習日誌の書き方』相馬和子・中田カヨ子[編]萌文書林 2018

《学習状況・理解度の確認》

- ・授業内課題として、学びの確認を行い、実習に向けての知識や技術を確実に身に付けていけるようにする。

《参考図書》

『幼稚園教育要領』 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』

《備考》

- ・本科目履修年度中に教育実習を行う予定であること。
- ・実習に臨む態度や心構えを身に付ける観点から全授業に必ず出席のこと。
- ・担当者は、幼稚園教諭として幼稚園勤務歴のある実務経験者である。

《授業の到達目標》

ディプロマポリシーの能力		授業の到達目標
◎	2-1幼児教育の方法を身につける	教育実習に必要な知識と心構えを学び、教育実習を通して、自己の子ども観、保育観を構築しながら、保育者としての課題を見出す。
○	2-2保育技術を身につける	教育実習に必要な保育技術を身に付け、子どもとの関わりや保育展開の中での的確に使えるようになる。

《成績評価の方法と評価の割合》

評価方法(%)	
試験	0%
小テスト	20%
レポート	0%
発表・実技	30%
授業内課題	50%
その他()	
合計	100%

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など	予習・復習等の内容	予習・復習等の時間
1	教育実習の意義と目的	授業の概要を知るとともに、教育実習の意義と目的について理解する。	『幼稚園教育実習の手引き』	45分
2	教育実習までの準備	教育実習前の準備やオリエンテーションの受け方について理解する。	『幼稚園教育実習の手引き』	45分
3	実習の流れと内容	幼稚園実習の流れと教育実習生としての留意点について理解する。	『幼稚園教育実習の手引き』	45分
4	指導案の作成と保育の展開① (部分実習の指導案)	部分実習の指導案を作成する。	部分実習指導案作成	90分
5	指導案の作成と保育の展開② (一日実習の指導案)	一日実習の指導案を作成する。	一日実習指導案作成	90分
6	指導案の作成と保育の展開③ (保育の反省の仕方)	保育の振り返りと評価の方法について理解する。	『幼稚園教育実習の手引き』	45分
7	教育実習実習日誌、観察記録の書き方	実習日誌、観察記録の書き方を理解する。	『幼稚園教育実習の手引き』	45分
8	子どもの生活と幼稚園における保育	子どもの遊びや生活の現状と幼稚園における保育や保育者の役割について理解する。	『幼稚園教育実習の手引き』	45分
9	教育実習の留意点① (実習生としての留意点)	実習生としての責任と自己課題について最終確認をする。	『幼稚園教育実習の手引き』	45分
10	教育実習の留意点② (小テスト)	日々の保育活動における留意点や子どもへの対応について小テストを通して最終確認をする。	学びの振り返り	45分
11	教育実習の留意点③ (自己課題の最終確認)	実習生としての責任と自己課題について最終確認をする。	自己課題の再確認	45分
12	実習終了後の振り返り① (グループ討議)	グループ討議を通して、教育実習を振り返る。	グループ討議	45分
13	実習終了後の振り返り② (実習報告書作成)	教育実習を振り返り、実習での学びと自己課題を見出す。	実習報告書作成	90分
14	実習終了後の振り返り③ (実習報告会)	実習での学びと自己課題をまとめ、報告する (プレゼンテーション)。	実習報告と相互評価	90分
15	実習終了後の振り返り④ (実習報告会)	実習での学びと自己課題をまとめ、報告する (プレゼンテーション)。	実習報告と相互評価	90分